

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 11 月 25 日 (2004.11.25)

【公表番号】特表 2002-502503 (P2002-502503A)

【公表日】平成 14 年 1 月 22 日 (2002.1.22)

【出願番号】特願平 9-531224

【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 B 5/30

G 0 2 B 5/02

G 0 2 B 5/04

G 0 2 F 1/1335

【 F I 】

G 0 2 B 5/30

G 0 2 B 5/02 C

G 0 2 B 5/04 Z

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 3 月 1 日 (2004.3.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年3月1日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第531224号 ✓

2. 補正をする者

名称 ミネソタ マイニング アンド マニュファクチャリング
カンパニー ✓

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル
青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬



方 式 査 査



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1 通



請求の範囲

1. 偏光を使用してイメージを発生させるための表示手段と；

照明手段と；

該表示手段と該照明手段との間に配置された偏光子と；

を含んでなるディスプレイであって、

該偏光子は、第2のポリマ連続相内に分散された第1のポリマ分散相を含み；該偏光子は、第1の軸に沿った該分散相と該連続相の屈折率の差が、第1の偏光状態の光を実質的に透過して該表示手段の方向に送出する程度に十分に小さく、かつ該第1の軸に直交する第2の軸に沿った該分散相と該連続相の屈折率の差が、第2の偏光状態を有する光を実質的に拡散反射して該照明手段の方向に戻す程度に十分に大きく；更に、該照明手段は、該偏光子によって反射された光の少なくとも一部分の偏光状態を変化させて、該偏光子の方向に光を再方向付けする前記ディスプレイ。

2. 光再方向付手段上に入射した所定のインプットウェッジの光を透過して、該インプットウェッジよりも狭いアウトプットウェッジの光として送出するために、該表示手段と該照明手段の間に配置された前記光再方向付手段を更に含んでなる、請求項1記載のディスプレイ。

3. 前記光再方向付手段が、前記照明手段と前記偏光子の間に配置される、請求項2記載のディスプレイ。

4. 前記光再方向付手段が、前記偏光子と前記表示手段の間に配置される、請求項2記載のディスプレイ。

5. 前記光再方向付手段が、更に、前記光再方向付手段上に入射した第2のインプットウェッジの光を反射するが、該第2のインプットウェッジは、前記光再方向付手段を介して透過する前記インプットウェッジよりも狭い、請求項2、3、または4のいずれか一項に記載のディスプレイ。

6. 前記光再方向付手段によって反射された光の少なくとも一部分が、前記光再方向付手段を介して透過する前記インプットウェッジ内の角度で前記照明手段によって反射されて前記光再方向付手段の方向に戻される、請求項5記載のディスプレイ。

7. 前記光再方向付手段が、フィルムの少なくとも1つの面上に複数の構造物を有する実質的に平面状のフィルムを含む、請求項2記載のディスプレイ。
8. 前記構造物が丸みのある峰を有する、請求項7記載のディスプレイ。
9. 前記構造物が丸みのある谷を有する、請求項7記載のディスプレイ。
10. 前記光再方向付手段が、フィルムの少なくとも1面上に複数の三角プリズムを有する実質的に平面状のフィルムを含む、請求項5記載のディスプレイ。
11. 前記構造物が60度～120度の範囲の夾角を有する、請求項8、9、または10のいずれか一項に記載のディスプレイ。